



藤末会長もアクション♪

「社会保障の解体は許さない!介護保険制度の抜本改善を!!」 STOP! 介護改悪 介護ウェーブ2015推進ニュース -介護の“Big Wave”を広げよう!-

秋の介護をよくするアクションウィーク (11月7日~14日)

東京 10月29日に東京民医連第5回訪問介護交流会を開催しました。

参加人数は30名弱でちょっとさびしかったのですが、その分交流はできたと思います。その交流会の最中にアクションウィークの通達が届きましたので、グループごとに写真を撮りました。



(東京民医連 及川)

神奈川県地域福祉課と懇談!

10月23日10:00より県保健福祉局福祉部地域福祉課から2名、民医連から10名が参加し「人材確保対策と需要計画」について県からの説明を受け、懇談を行いました。現場からは圧倒的な人員不足による過酷な実態が紹介され、「報酬改善」が急務であることを訴えました。「人材確保」では介護職部会で作成したDVDをぜひ観てほしいとお送りする約束をして懇談は終了しました。(神奈川「介護ウェーブ推進ニュースNO.75」より)
↓そして、介護の日の行動です。



介護職を中心に37名が集まり宣伝行動を行いました。片倉委員長のあいさつからはじまったリレートークは、新人さんもマイクを握り職場の現状を初々しく報告、ベテラン職員からは利用料が2割負担になり、利用料が払えないと、サービスを減らした事例を紹介しながら利用者さんの実態について報告がありました。署名は過去最高の104筆を集めることができました。高齢者の署名している姿が目立ち、自分の問題として捉えている人が多いのかなと感じられました。短時間の行動でしたが、ビラ300枚、ティッシュ400個を配布できました。徐々に元気が出る宣伝行動となりました。参加者の皆さん、体制の悪いなか送り出してくれた職場の皆さんご協力ありがとうございました。(神奈川「介護ウェーブ推進ニュースNO.76」より)

愛知

愛知民医連は、11月7日(土)、

愛知県医労連・自治労連愛知県本部との共催で、「2015年秋のドクターズ介護ウェーブ」にとりくみました。意思統一の集会で「みんなでガンバろう!」と氣勢をあげて、名古屋の繁華街・栄をパレード。さらに、三越前での署名宣伝行動にとりくみました。

介護職部会では、このとりくみに向けて作成した「介護のこころ」を伝えるカードをいれたティッシュペーパーを400個配布しました。また、署名宣伝のときには介護職員からのリレートークにもとりくみ、介護の仕事の素晴らしさと現場の実態を語り、道行く人たちに署名への協力を呼びかけました。

ウェーブ行動には、3団体で84名が参加。愛知民医連からは42名の参加でした。

(愛知民医連 島崎)



どんな影響がでるかシミュレーションしたものでしたが、今回は実際の影響による事例となっています。」 (やすらぎ福祉会 酒井秀明)

ひとこと) 全日本民医連事務局へニュースや写真などを送っていただく際は、PDF ファイルにしていけないものもいただけますと、加工しやすく助かります。

石川

石川民医連介護職種部会では今年の介護ウェーブを

夜の武蔵が辻で行いました。いつになく寒い日で行き交う人は早く家に帰りたい方々も多かったと思いますが、職員の懸命な訴えと声かけで立ち止まって話を聞いてくださり、「がんばって!」と励ましの声などいただきました。署名行動初参加の職員は「どうやって声をかけようか」、「誰に話しかけようか」など悩みながら声をかけにいき署名の説明を自分の言葉で行い、署名をいただいてきました。職員の説明を一生懸命聞いてくださり、自分の名前を時間かけて書いてくださった方々から介護処遇改

善等の署名71筆、医労連署名15筆のたくさんの思いを受け取ることができました。

私たちの思いを多くの方に知ってもらう署名活動はまだまだ続きます。

(石川民医連介護ウェーブ報告書より)

そして、石川のやすらぎ福祉会は、4月、8月の介護改悪実施による事例をまとめています。

「昨年は、改悪内容に照らしてみても

酷書 Part 2

誰もが安心できる介護保険制度にしてほしい

福祉施設からの事例報告

こんな負担増は許せない!



2015年9月

社会福祉法人やすらぎ福祉会
特別養護老人ホーム・やすらぎホーム
076-269-0808
特別養護老人ホームなんふやすらぎホーム
076-241-9600

お問い合わせは、「介護ウェーブ推進本部」事務局：吉澤・諏佐(すさ)
☎03-5842-6451 / fax03-5842-6460 E-mail: min-kaigo@min-iren.gr.jp